

広報グループの取組－啓発パンフレットについて－

BM子どもネット研究会 広報グループ

(末永麻子/鈴木庸子/拝野寿美子/服部珠予/森典子/柳瀬千恵美)

バイリンガル・マルチリンガル子どもネット研究会の議論や発表、相談室の活動から得た知見を、しかるべき人々にいち早くお伝えするための活動として、啓発パンフレットの作成を目指しています。以下は、しかるべき人々とは誰なのか、その人が最も必要とする情報はどのようなものかといった議論を整理したマトリックスです。マトリックスは対象者、掲載内容、デザイン、設置場所、部数まで広く考察する青写真といえます。2019年度は対象別のいくつかのパンフレット完成を目標としています。参加者の皆さんからのご意見、ご指摘をお待ちしています。

青字：既存のもの 赤字：必要と思われる情報 Q&A よくある質問として掲載を検討。

	A:保護者向け	B:学校教育関係者	C:地域の支援者	D:保育士向け
1. 母語の大切さ	A-1 ①多文化な子どもの学び (https://education-motherlanguage.weebly.com) (関西母語支援研究会) ②「日本で子育てをしている外国人保護者の方へ」 (https://www.jrc.sophia.ac.jp/volunteer/service_learning/for_parents/) (上智短大) ③母語教育のために親ができること (https://www.schoolbag.sg/story/how-parents-can-support-their-children-in-the-learning-of-mother-tongue-languages) (シンガポール教育省) Q&A・学校の先生に『家庭でも日本語を使ってください』といわれた時に、どう答える？	B-1	C-1 「子育てのことは一児童館から見たこと」(鈴木・西方) 母語保持がアイデンティティ形成や親子の絆作りに及ぼす影響について説明されたものが欲しい。	D-1 「子育てのことは一児童館から見たこと」(鈴木・西方)
2 バイリンガルを育てるために家庭でできること	A-2. ① Hold on Brochures” (https://www.ryerson.ca/mylanguage/) in MyLanguage.ca (Canada) ② “Bilingual Monkeys com” (http://bilingualmonkeys.com) (Hiroshima) ③ “Reading and Writing with your Child” (http://www.edu.gov.on.ca/eng/literacynumeracy/parentGuideLitEn.pdf) (Ontario 教育省) ④「乳幼児や小学生と海外で生活されるご家族へ 母語の大切さをご存知ですか？ 海外での日本語の保持と発達」 http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bogo-pam.pdf (公益財団法人海外子女教育振興会) <母語保持> Q&A「保護者は毎日の生活のなかで具体的に何をすればいいのですか？」(教材や活動の効果的かつ具体的な方法や事例)	B-2	C-2	D-2
3 複数言語環境の子どもの言語習得	A-3 「日本で子育てをしている外国人保護者の方へ」(上智)項目5, 6, 7を利用 母子健康手帳に項目を入れる。	B-3 新一年生向けのCLD児の言語発達や言語環境について説明されたもの(ひらがなの定着や足し算・引き算の学習でつまづかないために。)	C-3	D-3
4 リミテッド状況について	A-4. ①リミテッド状況という存在と正しい理解を伝える ②リミテッド状況を把握するための方法(基準)を提示 ③多くの事例とダブルリミテッドに対する対処法	B-4 リミテッド状況の子どもの事例と対処法 ★対応の仕方を記したパンフレットが必要	C-4	D-4

<p>5 バイリンガル 教育・母語保 持伸長教育</p>	<p>A-5 多言語電子絵本読み聞かせ (http://www003.upp.so-net.ne.jp/ehon-rainbow/) (多言語絵本の会 RAINB) ①母語教室や図書館の読み聞かせ情報など ②海外なら、補習校・継承語教室情報</p>	<p>B-5 “Advocacy Kit for Promoting Multilingual Education” (http://unesdoc.unesco.org/images/0015/001521/152198e.pdf) ユネスコ (2007) アイデンティティテキスト アプローチ トランスランゲージングの アプローチ</p>	<p>C-5 “Advocacy Kit for Promoting Multilingual Education” (http://unesdoc.unesco.org/images/0015/001521/152198e.pdf) ユネスコ (2007)</p>	<p>D-5</p>
--	---	--	--	------------

参考資料：

1. バイリンガル・マルチリンガル (BM) 子どもネット第1回学習会 報告2 (http://harmonica-cld.com/wp/wp-content/uploads/2016/01/BMCN1_Repo2_160810.pdf)
2. 「子育てのことばー児童館から見たこと」 鈴木庸子・西方郁子 (『2017年度バイリンガル・マルチリンガル(BM)子どもネット研究会配布資料』) (http://harmonica-cld.com/wp/wp-content/uploads/2016/01/4-2_poster2.pdf) (絵本形式のパンフレット。保護者に語る体裁をとりつつも、読んでもらいたい対象は保育士・幼稚園教諭、児童館職員などを含む。)
3. 石井加代子 (2004) 「読み書きのみの学習困難 (ディスレキシア) への対応策」 Science & Technology Trends (December 2004) pp.13-25. (2018年7月25日アクセス) (<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1557/1/NISTEP-STT045-13.pdf>) (ディスレキシアの問題を人々に知ってもらうため、どのような対策をどのような手順で進めるとよいか具体的な提言が書かれている。)